

2021年度 日本工学院専門学校											
声優・演劇科											
ダンスⅠ											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	選択	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	ノリエサトウ／佐藤千絵			実務経験	有	職種	ダンス教師				
授業概要											
筋力及び柔軟性を強化し、しっかりとした体幹しなやかな肉体を作る。 健康の基本である姿勢を改善し重力の方向へのまっすぐな重心を作る。 グループ練習による協調性やダンスの振り付けなど創造力を養いまた肉体表現の楽しさ面白さを受け取る。											
到達目標											
クラシックバレエのベーシックなバーレッスンの積み重ねによる強くしかもしなやかな肉体を目指す。 フロア（センターレッスン）ではバレエ以外のステップも含め様々な初歩的ステップを習得する。 与えられた課題作品を完成させ人前で発表できるレベルまで高める。											
授業方法											
バーを補助に体幹、脚、腰を鍛えどんな状況にも耐え得る強い軸を造る。 鏡を活用し常にみせている自分が意識できるよう導き、肉体、心を研いていく。 バレエレッスンの積み重ねで全身を使い切った動きが出来るようになる。											
成績評価方法											
平常点	60%	授業を受ける姿勢、積極性、アプローチ									
課題	30%	アビールの仕方、表現力、ダンス及び音楽センス、基本（学んだこと）を活かしているか									
出欠	10%	特にグループ発表での欠席の減点									
履修上の注意											
全授業を出席することが大前提。授業開始までに着替え、アップ、バーの準備を済ませておく。おしゃべり禁止。 口ではなく肉体を存分に動かそう！ 質問・疑問は次回に持ち越さずその時に解決しよう。退出時に忘れ物チェックをすること。											
教科書教材											
参考書（バレエの教則本）を紹介											
回数	授業計画										
第1回	オリエンテーション：バレエの授業の意義を理解する。基本のポジションを覚えレバランスが出来る。										
第2回	バーレッスン／センターレッスン①：各動きと名称を一致させて覚える。型に少しでも近づけようと意識できる										
第3回	バーレッスン／センターレッスン②：各動きと名称を一致させて覚える。型に少しでも近づけようと意識できる										
第4回	バーレッスン／センターレッスン③：各動きと名称を一致させて覚える。型に少しでも近づけようと意識できる										
第5回	バーレッスン／センターレッスン④：各動きと名称を一致させて覚える。型に少しでも近づけようと意識できる										
第6回	バーレッスン／センターレッスン⑤：各動きと名称を一致させて覚える。型に少しでも近づけようと意識できる										

2021年度 日本工学院専門学校	
声優・演劇科	
ダンス I	
第7回	バーレッスン／センターレッスン⑥：正しい動きを理解し自分でも確認できる余裕がでてくる
第8回	バーレッスン／センターレッスン⑦：正しい動きを理解し自分でも確認できる余裕がでてくる
第9回	バーレッスン、ダンス振り渡し：スムーズにバーレッスンを進める。30秒程度の振りを授業内で覚えきる
第10回	バー、グループ分け、作品仕上げ：スムーズにバーレッスンを進める。メンバー同士協力して作品を仕上げる
第11回	バー、ダンス躍り込み：スムーズにバーレッスンを進める。自主的に練習を繰り返す 動きを整える
第12回	バー、各グループダンス発表：スムーズにバーレッスンを進める。練習の成果を十分に発揮できる。周りを意識できる余裕がある。
第13回	バーレッスン、動きの復習・強化①：動きの再確認と修正 更に型を整えレベルアップを目指す
第14回	バーレッスン、動きの復習・強化②：動きの再確認と修正 更に型を整えレベルアップを目指す
第15回	バーレッスン、動きの復習・強化③：動きの再確認と修正 更に型を整えレベルアップを目指す